

平成30年度第1回 淀川区区政会議 議事要旨

日時：平成30年7月12日（木）18:30～20:25

場所：淀川区役所 5階 501～502会議室

出席者：

- ・ 委員（22名中19名出席）

福岡委員（議長）、牧委員（副議長）、浅野委員、和田委員、山本委員、泉委員、岡鼻委員、久保委員、米山委員、一丸委員、西尾委員、川合委員、石田委員、藤野委員、光在委員、泉水委員、中道委員、福島委員、増田委員

（欠席：板谷委員、新井委員、久本委員）

- ・ 市会議員

山下議員、寺戸議員

- ・ 区役所

山本区長、中喜多副区長、西総務課長、久保政策企画課長、新井市民協働課長、
寫岡保健福祉課長、川谷保健・子育て支援担当課長、榊原教育支援担当課長、
畑中窓口サービス課長、前田保険年金担当課長 他

内容：

1. 開会

2. 区長あいさつ

3. 議題

(1) 6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震について

(2) 平成29年度運営方針の振り返り及び次年度運営方針策定について

【部会報告】

○安全・安心なまちづくりについて

○教育・子育て支援の充実について

○つながるまちの実現・区民のための区役所づくりについて

(3) 運営方針の様式見直しにかかる検討状況について

(4) その他

資料：

次第・委員名簿他

資料1 大阪府北部を震源とする地震について

資料2 大阪府北部を震源とする地震について区政会議委員のご意見

- 資料3 平成30年度第1回区政会議安全・安心なまち部会議事要旨
資料4 平成30年度第1回区政会議教育・子育て部会議事要旨
資料5 平成30年度第1回区政会議コミュニティ力向上部会議事要旨
資料6 区政会議における2019年度（平成31年度）運営方針に関する意見への対応方針
資料7 運営方針の様式見直しにかかる検討状況について
資料8 2018年度 淀川区運営方針の改定履歴
資料9 区政会議委員 評価シート（見本）
資料10 平成29年度運営方針 区役所の自己評価（抜粋）
資料11 平成29年度運営方針（様式1・2）

〔その他〕 よどマガ 7月号
YODO-REPO 43号

1. 開会

2. 区長あいさつ

3. 議題

- (1) 6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震について
・大阪府北部を震源とする地震に関する対応について説明
〔資料1～2〕（新井市民協働課長）

○質疑応答

【災害時要援護者の安否確認について】

- ・私の町会は、マンション全体が1つの町会で、全戸に「無事」「要援助」というプレートを配付しておりました。今回の地震で、全戸に「プレートを出してほしい」と放送を流したおかげで、午前中に400世帯の安否確認がほぼ終了したので、今までの訓練が役に立ったと思えました。（増田委員）
- ・見た目にもほとんど被害が出ていない状態だったので、安否確認はしておりません。保護司さんやネットワーク委員の方が一部自主的に安否確認をされたところもあるようですが、ほとんどはしていない状態です。（一丸委員）

- ・民生委員をやっているなので、電話で安否確認を行いました。電話が通じなかった方には、緊急連絡先に電話を入れて安否確認を行いました。(米山委員)
- ・各町会長さんが独居老人のお宅へ確認に行っておられました。(西尾委員)
- ・マンション町会で、ガスの開栓も兼ねて1戸ずつ順番に回りました。(岡鼻委員)
- ・当日の午前中に安否確認ができたのは23町会中13町会で、最終的な確認には1日2日かかりました。(泉委員)
- ・3月のワークショップで更新した要援護者の名簿が回収されたままで、手元にありませんでした。紙ベースで更新の度に手元になかったり、分厚かったりするので、名簿の持ち方を考えた方がいいと思いました。(増田委員)
- ・私が要援護者のお宅を確認させて頂いた際は、ほとんどスムーズに回れました。しかしながら、安否確認ができない方がおられました。耳が全く聞こえない方やヘルパーさんがいないと対応ができない方で、このような方への対応はどうすればいいか悩んでおります。(福岡議長)

⇒回答

市の対応として、区長会の安全・環境・防災部会で抽出した課題を危機管理室にあげております。区政会議委員のご意見や地域活動協議会、地域会議でのご意見も課題として、市にあげさせていただきます。(山本淀川区長)

【避難所開設等について】

- ・今回の地震では、ほとんどが在宅避難をしていましたが、被害状況の連絡が町会から本部に来ず、本部から各町会に聞いていくという形になりました。町会全体で在宅避難をしているときにでも、その事を本部に知らせる必要はあると感じました。(増田委員)
- ・今回の地震がきっかけで、震度5になったら、役員は、自分の町会の安否確認後、会館に集合し、避難所を開設する等後の事を考えようというルールを決めることができました。(西尾委員)
- ・地震の後、子ども達がすごく心を痛めたことから、子どもが1人でいなくても済むような子ども避難所を平時に決めて作っていかうと思っています。(増田委員)
- ・これまで避難所開設訓練は経験してきましたが、今回の地震では地域の人達だけで避難所を開設することができませんでした。どういった基準で避難所を開設するのか決まっているのかということも疑問でした。(石田委員)
- ・去年の避難所開設訓練の際に、開設キットをつくり、最初に来た人が災害対策本部長になって避難所を開設すると決めており、今回実際に開設できま

した。(増田委員)

- ・今回の地震で、まずは集まった者でできる体制で避難所を開設し、ある程度落ち着いてから、対策本部はゆっくりと動いたらいいと感じました。(福岡議長)

⇒回答

本来であれば、基本的に行政が避難所を開設します。しかしながら、区役所職員や直近参集職員がそれぞれ担当の地域まですぐに駆けつけられない時間帯では、人数が確保できない事が想定されます。その場合は、避難所に近い地域の方々、鍵を預かって頂いているの方々のお力をかりないと開設することができません。避難所開設の基準を平常時から決めておく等の課題にしっかり取り組んでまいります。(山本淀川区長)

【その他 地震、大雨についてのご意見】

- ・今回の地震では、中学生は自宅待機となりましたが、仕事等で自宅に保護者がいないところはどうしたらいいのかと思いました。また、被害に遭われた方で、自分の家が壊れているがどうしていいのかわからない方の手当てを考えてもらいたいです。(福島委員)
- ・私は大阪市防災アプリを活用しながら情報を取っていましたが、情報を取れていない人も多かったので、防災無線を活用して避難所の開設状況や今の状況等を流してもらえたら、安心される方もいるのではないかと思います。(増田委員)
- ・耐震の建て替え基準年数を超えている小学校を避難所として使用するならば、予算を投入して頂きたいです。また、私は水防団に入団しておりますが、以前から予定されていましたが訓練が豪雨の為に中止になりました。水防団待機水位の時こそ、訓練ではなく、状況を見てどう判断するかという事をやってほしかったです。淀川区役所の問題ではないですが、できれば大阪市や国土交通省に伝えてほしいです。(泉水委員)
- ・大阪市の小学校講堂に空調施設がなく、避難してきた人がこの暑さにまいてしまうのではないかと思いますので、予算を検討して頂きたいです。(石田委員)
- ・火事でベランダから逃げる場合は、昔のマンションはパーティションを突き破って端っこまで行けましたが、今はベランダから縄ばしごでおりになっているマンションが多いようですが、高齢者が縄ばしごを使用しておりるのは難しいと思います。(米山委員)
- ・私は、子ども見守り隊の隊員をしております。小中学生の通学路のブロック塀等の調査は、済んでいるのでしょうか。(久保委員)

⇒回答

地震のすぐ後に教育委員会から各学校に暫定的な調査の指示があり、その後、再調査の指示もありました。その結果を受けて、学校の敷地にあるブロック塀は、公費で是正していくことになると思いますが、私有地にあるブロック塀については、ブロック塀の撤去を促進する補助制度を7月下旬から都市整備局で受け付けをする予定とホームページで掲載しております。ただ、私有地のブロック塀につきましては、保有されている方が自主的に撤去したいという意思がなければ、撤去できないという点も踏まえ、通学路の安全対策をどうしていくのかという課題を市にあげていきたいと思っております。(榊原教育支援担当課長)

(2) 平成30年度第1回部会報告について

- ・5月、6月に開催された各部会について各部会の議長より報告
[資料3～6]
(安全・安心なまち部会：泉議長、教育・子育て部会：泉水議長、
コミュニティ力向上部会：西尾委員)

(3) 運営方針の様式見直しにかかる検討状況について

- ・運営方針の様式見直しにかかる検討状況について説明
[資料7] (山本淀川区長) (久保政策企画課長)

○質疑応答

- ・運営方針を「Plan、Do、Check、Action」で分けて記載してもらえれば、スパイラルアップの効果もわかりやすいと思っております。(福岡議長)

(4) 2018年度の運営方針の改定履歴について

- ・運営方針の改定について説明
[資料8] ((久保政策企画課長)

(5) 区政会議委員による評価について

- ・「市政改革プラン2.0(区政編)」に基づく区政会議委員による評価について説明
[資料9～11] ((久保政策企画課長)